今年生まれた、たくさんのベビーたち。

フンボルトペンギン

今年はベビーラッシュとなったフンボルトペンギン。4月から7月にかけてふ化が続きました。夏も過ぎ、灰色だったヒナの羽毛は換羽して、黒い逆U字形の帯のない、ぼんやりとした幼鳥の模様になりました。でも、体はもうお父さんやお母さんとあまり変わらない大きさ。個性豊かな5羽がプールで元気に泳いでいます。

キョン 1月1日生、6月16日生

今年の1月と6月、別々の親から2頭の子供が生まれ、7頭になったキョン。警戒心が強く、野生では群れを作らないとされるキョンが、ここでは集団で仲良く暮らしています。6月生まれの赤ちゃんは、最初から仲間と一緒。一緒に暮らす仲間に毛繕いをしてもらっています。

愛へもみんなの動物のベビーを100%クローズアップ！

コクチョウ 5月1日生

夫婦一緒に、仲むつまじく抱卵するコクチョウに今年の春もヒナがかえりました。3羽のうち2羽は残念ながら死亡しましたが、残り1羽は元気にすくすく育っています。今では両親そっくりになりました。元気に育って、立派な成鳥になってほしいものです。

この他にも、サル、シュバシコウ、ビーバーなどの赤ちゃんも誕生しています。

コモンマーモセット 3月31日生

3月31日の朝、コモンマーモセットに双子の赤ちゃんが生まれました。生まれた頃の体長は、わずか10センチ足らず。父親や兄弟を含め、家族全員が協力して子育てにあたり、大きく成長しました。最近は性格もはっきりしてきました。好奇心旺盛な女の子と、憶病で慎重な男の子。双子でも性格は正反対の2匹です。

マーコール 7月19日生

7月19日、マーコールに双子のオスの赤ちゃんが産まれました。生まれた直後は、まだおぼつかない足取りでお母さんの後について展示場の段差を登る練習をしていましたが、最近では段差を気にすることなく、元気に駆け回っています。オスにはぐるっと巻いた大きな角がありますが、お父さんのような立派な角を持つ大人に育ってもらいたいものです。

訃報 ライオン「カズ」 6月3日没

オスのライオン「カズ」（6歳）が腎不全で死亡しました。昨年の8月、メスの「マンゴー」との間に、オスとメスの双子が誕生。じゃれ合って一緒に遊んだり、家族で日光浴をするなど、優しいお父さんでした。5月上旬から体調を崩し、投薬や点滴により治療を続けていましたが、6月3日夜、飼育員や獣医師の前で眠るように息を引き取りました。飼育下では約20年は生きるといわれるライオン。早すぎる死が残念でなりません。